



平成 30 年度 第 7 回ツアー

紅葉を訪ねて南アルプス北沢峠をひとまたぎ

い〜なガイドの会
い〜な旅チーム
原 弘幸

ちょっとお出かけ い〜な旅
2018/10/16 (火)

行程

仙流荘
北沢峠
広河原

10月16日は、数日来的雨も上がり、初冠雪で薄化粧した山々を背景に紅葉が楽しめるトレッキング日和となった。

山の自然を愛でる60人余が市役所に集まり、林道バスの起点仙流荘へ。鷹岩トンネルを越えたところでバスの正面に雪をかぶった仙丈ヶ岳がくっきりと姿を見せた。今朝は、1600メートルのところまで5センチの積雪があったという。

仙流荘から3台の林道バスに分乗して北沢峠に向かう。南アルプス林道入り口の戸台大橋付近ではすでに紅葉が始まっている。海拔1000メートルを超えた辺りからは、樺の類やカラマツの黄色の中にミネカエデの赤が混じる紅

葉が楽しめるようになってきた。高曇りの天候のおかげで空気が澄んでおり、日の光も柔らかく、雪を頂いた木曾山脈の峰々が遠望でき、間近には紅葉の衣をまとった鹿嶺高原、並んで奥には鋸岳・甲斐駒ヶ岳の稜線がくっきりと浮かび上がって見えた。

さらに登って白岩周辺まで行くと、シナノコザクラ・トダイハハコ・ハクサン菊などの花々が咲き残っているのが見られ、戸台川を挟んだ対岸には、白い岩肌が緑と黄色の斑に囲まれた幕岩の紅葉も楽しむことができた。歌宿からは、飛騨山脈の乗鞍・槍ヶ岳・穂高岳まで見通すことができ参加者感激。鋸の鹿穴も確認でき、雪をかぶった甲斐駒

・仙丈も手に取れるような近さで見ることができた。

北沢峠で、山梨側のバスに乗り換えて広河原へ。峠を越えると紅葉の色が一段と鮮やかになる。紅葉に彩られた峡谷の底を流れる野呂川の清流に落ち込む幾筋もの滝の景観は絶景。広河原からは、紅葉の切れる山際に北岳を望むことができた。

ここで紅葉を楽しみながらの昼食と散策。散策の途中で山ブドウが採れ、自然の恵みの甘酸っぱいデザートをみんなで味わった。

復路も貸し切り状態の林道バスに乗って、ツアー仲間だけでゆっくりと紅葉を楽しみ、峠を越えて戻った。